

平成28年度第1回生涯学習審議会 会議録

【開催日時】 平成28年7月1日（金） 午前10時から12時30分まで

【開催場所】 教育委員会 大会議室

【出席者】

（委員）

飯牟礼委員、入野委員、木川委員、栗原委員、椎谷委員、巽委員、中村委員、福田委員、藤間委員、藤原委員、古内委員、三好委員、渡辺委員（13人）

（職員）

倉部教育長、小林生涯学習部長、吉成生涯学習部次長（兼生涯学習課長）、鈴木文化・スポーツ課長、斉藤鳥の博物館長、今井図書館長、丸山生涯学習課主幹（兼公民館長）、小林文化・スポーツ課主幹、田口公民館長補佐、石井公民館長補佐、辻文化・スポーツ課長補佐、安富鳥の博物館長補佐、宇賀神図書館長補佐、穂村図書館長補佐、生涯学習課 望月主査長、本間、山田

【傍聴人】 なし

【会議次第】

- 1 傍聴要項の決定について
- 2 教育長挨拶
- 3 生涯学習審議会自己紹介
- 4 職員自己紹介
- 5 生涯学習審議会の任務について
- 6 議事
 - （1）正副会長の選出について
 - （2）我孫子市第三次生涯学習推進計画および前期実施計画について
 - （3）平成27年度生涯学習事業の実施状況について
 - （4）平成28年度生涯学習事業の予定について
 - （5）生涯学習推進事業について
 - （6）あびこ楽校ニュースについて
 - （7）我孫子市交通安全推進協議会委員の推薦について
- 7 報告事項
 - （1）平成28年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画について
 - （2）第58回全国社会教育研究大会千葉大会について

(3) その他

【配布資料】

- 資料1 我孫子市生涯学習審議会傍聴要領
- 資料2 我孫子市生涯学習審議会について
- 資料3 生涯学習推進計画 実施計画 実施状況調査表
- 資料4 平成27年度生涯学習事業の実施状況
- 資料5 平成28年度生涯学習事業の予定
- 資料6 卒サラ講座「人生は定年後が、面白い！！」
- 資料7 あびこ楽校ニュース
- 資料8 我孫子市交通安全推進協議会委員の推薦について（依頼）
- 資料9 平成28年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画書

【議事】

(1) 正副会長の選出について

○生涯学習課長：会長については条例で委員の互選によって定められることになっていて、皆さんの中で自薦や他薦でどなたかを出していただき決めていただくわけですが、今回の場合は特殊な事情があるので説明させていただきたいと思います。本日お配りした資料の中に全国社会教育研究大会千葉大会という資料がございますが、毎年各県が持ち回りで行っている大会で、今年度千葉で開催されます。昨年度から千葉県と県内市町村から実行委員を出して実行委員会を組織して準備をすすめています。今年の10月26日から28日まで開催されるのですが、実行委員を出すにあたって各市町村からは社会教育委員長や生涯学習審議会の会長ですとか、そういった役職の方々を実行委員として出してくださいということになっておりまして、我孫子市では、昨年度社会教育委員長だった渡邊委員に実行委員になっていただいています。渡邊委員には今年の10月の大会で発表をしていただくことにもなっておりますので、事務局としては渡邊委員にお願いしたいと考えているところですが皆さんどうでしょうか？（拍手あり。）ありがとうございます。それでは渡邊委員に会長になっていただくということで、渡邊委員宜しいでしょうか。

●渡邊会長：はい。

○生涯学習課長：ありがとうございます。それでは渡邊会長のからひとことご挨拶をお願いできればと思います。

●渡邊会長：そういう事情でということもありまして、引き続きまたこういう所で会長を仰せつかりました。今年の10月にかなり大きな大会がありますので、これまでずっと県の方にも実行委員として会議に携わらせていただきましたので、引き続きやらせていただくことになりました。私は基本的に市民レベルでの目線でしか物が見られ

ませんので、言いたいことを事務局や委員の方達に言うてしまうかもしれませんが、その辺はご容赦願って生涯学習を推進していただきたいということで一生懸命やっていますので宜しくお願い致します。

○生涯学習課長：それでは、ここからの議事進行は渡邊会長、宜しくお願いします。

●渡邊会長：引き続き副会長を選任しなければいけないのですが、元社会教育委員の方は知っているのですが、それ以外の方、あびこ楽校から来られた方、初めての方もだいぶいらっしゃると思いますので私個人で会長が副会長を指名するというわけにはまいりませんので、もし事務局で推薦があればお願いしたいのですが。

○生涯学習課長：はい、事務局では本日欠席されているのですが、飯島寛一委員を推薦させていただきたいと考えております。飯島寛一委員は、昨年度まであびこ楽校協議会の委員として生涯学習事業の普及と啓発にご協力いただいております、我孫子市の生涯学習の状況を的確に把握している方ということと、ご本人は本日ご欠席ですが、他に立候補する方がいらっしゃらなければ、引き受けてくださるという内諾をいただいておりますので、事務局としては飯島委員を推薦させていただきたいと思っております。

●渡邊会長：本来どなたか立候補を事前に呼びかけるべきだったのですが、先程申しあげたとおり、もしかすると私の代わりに県に行っていただくようなかたちにもなりますし、事務局で今度の方をご存じということで、本日は欠席ですがお願いしてあるということですのでぜひお願いしたいと思いますが、宜しいでしょうか。（拍手あり。）では副会長を飯島寛一委員といたしますので、本日欠席ですが次回以降よろしくお願い致します。

(2)「我孫子市第三次生涯学習推進計画および前期実施計画について」生涯学習課から説明。

○生涯学習課：我孫子市第三次生涯学習推進計画の概要版をご覧ください。この概要版は我孫子市第三次生涯学習推進計画の核を成す部分をまとめたものになっています。本日はこの概要版を用いて、我孫子市第三次生涯学習推進計画の説明をさせていただきます。2ページをご覧ください。この推進計画は、我孫子市のまちづくりの最高指針である基本構想に掲げる将来都市像や我孫子市教育大綱を生涯学習の観点から実現していくための部門別計画で、生涯学習分野で策定される個別計画の基本となる計画です。「計画の期間」は平成28年度から平成37年度までの10年間です。続いて5、6ページの「計画の体系」をご覧ください。3つの基本理念①健やかで個性豊かな自分づくり②高めあい支えあう思いやりの人づくり③明るく活力ある心のまちづくりは、平成15年に策定した第1次生涯学習推進計画から変わっておりません。この基本理念を踏まえて分かりやすく一言で表現したものが「基本方針」“学び、活かし、つながるまち我・孫・子”になります。続いて我孫子市がめざす生涯学習の「基本目標」と、

目標達成のための「施策」についてです。基本目標は基本方針に基づいて5つあります。その基本目標に14の「施策」を位置づけています。また、事業の確実な推進を図るため、14の施策をより具体化したものが7ページから9ページに掲載している「施策の方向」となります。各施策に連なる黒丸がそれにあたります。

続いて生涯学習推進計画 前期実施計画について説明いたします。背表紙が黒い我孫子市第三次生涯学習推進計画前期実施計画をご覧ください。第三次生涯学習推進計画は平成28年から37年までの10年計画ですが、前期実施計画は、平成28年から平成32年までの5年間を計画期間としています。推進計画の確実な実現に向けて、市の各部署で実施する「生涯学習に関する事業」を施策ごとに体系化して、事業の着実な推進を図るために策定しました。推進計画では理念的なもの、実施計画は、市が実施する具体的な事業を位置づけたものになります。11ページをご覧ください。本実施計画には、向こう5年間に市が実施する生涯学習に関連する「173の事業」を14の施策ごとに掲載しています。掲載内容は、個別事業名、趣旨・目的、実施予定年度、担当課です。事業につきましては、平成28年度以降に新たに実施するとして位置づけた主な事業を4つ説明させていただきます。ひとつめは、12ページの17番の「生涯学習情報提供システムの整備」です。市のHPとは別に生涯学習情報を提供するサイトを立上げ、団体の活動、講座開催等の生涯学習に関する情報を集約して発信します。また、登録された方が、独自で情報の更新ができ、タイムリーな情報が提供できるようにします。来年度から実施できるよう、庁内関係課と連携しながら検討していきたいと思えます。次に21ページの75番「子どもの読書活動推進計画の策定」です。H13年に施行された「子どもの読書活動の推進に関する法律」にもとづいて、子どもの読書活動を促進する施策について、計画を策定するものです。計画は、31年度までに策定したいと考えています。続いて27ページの122番「鳥の博物館リニューアル」です。展示技術の進歩や、研究成果の進展により現在の常設展示をリニューアルし、より魅力的で質の高い情報の提供を行います。今年度から検討を開始し、鳥の博物館開館30周年を迎える平成32年には完了しておきたいと考えています。最後に、31ページ141番「スポーツ指導者の研修制度の確立」です。指導者によって、自身の経験則に頼って指導している場面が見受けられますので、体育協会と連携を図りながら検討を開始し、2年後の30年度から市独自の研修制度を実施していきたいと考えています。

(3)「平成27年度生涯学習事業の実施状況について」(資料3)生涯学習課から報告。

○生涯学習課：A4横の実施状況調査をご覧ください。この実施状況調査には、前期実施計画に位置付けた185の事業を記載しています。それぞれの事業について平成27年度に実施した具体的内容と、その成果・課題。また、平成28年度実施予定の具体的内容が一覧となっています。全てに目を通していただく事が望ましいと思えます

が、ボリュームがありますので、特に審議会委員皆様の専門分野ですとか、その他、関心のある事業についてご覧になっていただき、後日、意見や提案があれば事務局の方まで連絡していただければと思います。

- 渡邊会長：36番健康スポーツ普及事業についてですが、28年度からずっと丸がついていてやられるというかたちで実施計画はあるのですが、スポーツ推進委員の方がこの何年も定数に満たなかったり、事業への参加が非常に少ないところが見受けられるのですがその辺のところはどうお考えですか。
- 文化・スポーツ課主幹：30人以内ということで定員はあるのですが、現状では17名です。ここ2年間活動継続事業があったのでそのままにしてしまったのですが、市長とも色々相談していて、以前のように体育協会にもう一回お声がけさせていただいて、体育協会の方からもスポーツ推進委員の推薦を考えています。現在スポーツ振興についても色々話をしているのですが、30年前に無理やり30名出していた時期もありました。しかし、その時も実際活動している人数は今とあまり変わらないところがあって現状、活動的には少ないのですが活動に支障がないというところがあります。ただ、スポーツ基本法が制定されてスポーツ推進委員に対する役割が、以前体育指導委員と呼ばれていた時代とだいぶ変化が生じています。特に今まで若い方のスポーツ推進委員がなかなかいなく、他市町村をみると多少は若いスポーツ推進委員の方もいるのですが、そういった方は教員ですとか公務員といった方が多いので、その辺を考えながら、今後は学校との連携を考えながら子どもたちに関するスポーツ指導もスポーツ推進に求められることもありますので、地域へのスポーツ推進と二本立てでできるようなことを考えているところです。次回の任期では人を確保していきたいです。今変わってきていることは前期から市の職員で障害、福祉関係の職員にスポーツ推進委員に入ってもらい、障害者スポーツに関してスポーツ推進委員が少し足を踏み入れました。パラリンピックとか競技スポーツではなく、例えばあらかき園に行って通所者達とできるスポーツですとか、中峠にある作業所の方達とウォーキングをするなど、新たな展開を少しずつはじめています。継続してさらにカバーできるようにしていきます。
- 渡邊会長：スポーツ推進委員を増やして、事業をきちんと継続できるように努力していただければと思います。
- 栗原委員：計画の体系の中に5段階ありまして、その中の4つ目の学んだ成果を活かすことのできるまちづくりとありますが、27年度実施計画の中の事業はどのくらいの成果がでたのでしょうか。
- 公民館長：学んだ成果をできるだけ活かすようにということで、特に今年度公民館主催事業の長寿大学、熟年備学そういったところで地域に活躍できるような、私たちは地域に何ができきるの？というような具体的なテーマを設けて講座内容でボランティアまたは地域活動のきっかけを作ってもらえるような講座案内を、今年は特に計画を

意識して行っています。

- 栗原委員：目標がたくさんある中のどのくらいが計画を意識しているのかなというのが質問の主旨なのですが。
- 生涯学習課長：市役所の中で各課が進めている事業について、本来はきちんと計画の精神や考え方がそれぞれの職場の職員に伝わっていなければならないということで、そういったところを意識して事業を行ってもらいたいということは常々生涯学習推進本部でも申し上げているのですが、その中のどれがそこを意識してやっているのかについては今整理できていない状況ですので、基本目標の4、5を意識してそこにつながる事業がどのくらいあるのかは後日報告させていただければありがたいと思います。
- 渡邊会長：市民活動をしている人間からすると来年度以降期待して良いということですか。卒業生から市民活動を指導していただけるような人材がでてくるという期待をして宜しいでしょうか。
- 公民館長：公民館の事業としては、市民活動については前々から意識しておりまして、やはり学んだものを地域に活かそうという事業計画を実際しております。ただ実際に現場やNPOの方々から、担い手の方がなかなか入ってこない、という声も聞こえております。私も前職が高齢者の方でしたので、担い手問題は我孫子の重大な問題と認識しております。具体的に学んだものがきっかけとして市民活動につながるように、私としても努力をしていきたいと思っております。今まで以上には成果があがるだろうということで我々も取り組んでいきます。先ほど言いませんでしたが、もうひとつ、こちらの講座のほうに「我孫子を知る」という市民カレッジがございます。「我孫子を知る」というのは、今年度個人参加にはしておりますが、我孫子の歴史を知りながらさらに市の現状を知って地域活動に、ということでした。今までそれは同じなのですが、今年新たに自主参加でNPOの現場を選択して訪ねてみようということで、主催している団体の方と市がタイアップしました。去年以上に出ていけるきっかけを28年は特に作っております。来年には少し出たと言われるようにすすめていきたいと思っております。よろしく申し上げます。
- 椎谷委員：資料3の生涯学習推進計画実施計画・実施状況調査表にあげられている事業は生涯学習事業に位置づけられていると思うのですが、資料4以下の生涯学習事業は教育委員会事業に限定されています。この辺の行政側の整理の仕方、考え方はどういう関係で事業を位置づけているのかなというところが一点です。あと一点細かいところで恐縮ですが、18ページの36番健康スポーツ普及事業、総合型地域スポーツクラブについて取り上げられているのですが、参加人数は自主運営のためつかんでいないというコメントですが、ホームページなんかでみますと、お金を払っている会員制、ビジターもあります。会員数くらいは把握できるのではないかなと。多彩な事業で地域に密着した、非常に良い事業だと思いますので、そういう方達がどのくらい参加があるのか指標にもなりますので、各クラブに聞いて頂いて会員数を入れていった

方がイメージもつかみやすいし、これだけ大勢の方が参加しているなら私も参加しようかとなりますし、これは運営する側にとっても有効な情報ではないかと思います。以上2点です。

○生涯学習課長：委員ご指摘のとおりこの後に報告する平成27年度生涯学習の実施状況というのは生涯学習部で担っている事業について基本的に整理してあります。資料3の市全体で実施している生涯学習事業すべてについてここで報告となりますと非常に時間がかかってしまいますので、今回説明させていただくのは生涯学習部の事業ということで考えております。そうは言いましても生涯学習は環境や福祉や健康ですとか様々な分野で市役所の各部署が市民の要望にお応えして学ぶ機会を提供したり、市民からの要望に応じてイベントを実施したり、そういったことで生涯学習は教育委員会だけで担うものではなく我孫子市としては市全体で担うものだと考えて、こういった185の事業を生涯学習ということで整理してあります。ただこの審議会の中では生涯学習部の事業を中心にすすめさせていただく、ということをご理解いただきたいと思えます。

●椎谷委員：生涯学習のイメージが自由に勉強していくというイメージがあるのですが、42ページの失語症家族教室など、医療・福祉的なそういう分野まで入れて良いのかなと疑問がありました。今の回答で一応でわかりました。それ以外の分野でも生涯学習と位置づけられているのは良くわかりました。

○文化・スポーツ課主幹：健康スポーツ普及事業の総合型地域スポーツクラブについては、会員数を入れるようにします。

●飯牟礼委員：質問ではなくお願いになるのですが、生涯学習の情報提供や電腦考古博物館についてホームページで発信していくということですが、こういうホームページがあるということを広く市民の方に知っていただかないと、我孫子の財産のことを、本当に知っている人がさらに知りたいということで入っていくことではなくなっていくのではないかなと思います。生涯学習の情報提供や電腦考古博物館のことを、もっといろんな機会に広く皆さんにお伝えいただければより広がっていくのではないかなと思います。私のお願いとして、宜しくお願いします。

●入野委員：生涯学習推進計画実施計画実施状況調査表の66番の長寿大学と書いてあるところを見させていただくと長寿大学の内容が書いてございまして、ちょっとびっくりしたのですが、長寿大学はやはり定年を迎える近所の人たちが、これからの生きがいをづくりをする橋渡しをしてくださる場所かなと私は考えていたのですが、4年間という長い間学べるということで、その人たちが今度ボランティアしようとした時に非常にやりにくくなるのかなと感じます。逆に言いますと、こんなに長いこと長寿大学に通う必要があるのかとまずひとつ疑問に思っています。私は今、地域のふれあいサロンを経営しているのですが、そこにボランティアに来てくださる方の中には長寿大学を出ている方はほとんど来てくださりません。なぜかというとならぬ長寿大学でできた

人間関係の中で一緒に遊びに行ったり、飲み会に行ったり友達のグループができてしまいますと、なかなかボランティアに入っていないというような現状があります。ですので長寿大学というところはその人のカルチャー、文化を学ぶ場所であると同時にやはり地域に貢献するのを全面に出していただいて、できればもう少し短い時間で現場にでられるといたら変ですが、社会で働いていた人をリハビリして地域に入るというきっかけになるには4年は長すぎると感じます。何か一つのことをつきつめて、研究したいという人は良いのかもしれませんが、できればもう少し短くして、もっと多くの人に、同じお金を使うならもっと大勢の人に体験していただいて、そのあと地域に戻っていただくような手だてを考えるような長寿大学であってほしいなと思っています。そういう風に私は感じております。

○公民館長：貴重なご意見ありがとうございます。実際募集のチラシを作った時に、「卒業後は地域の活動に進んで参加する意欲のある方」ということまではっきり書かせていただいて現在募集をかけている現状でございます。ふれあいサロンは、高齢者関係の職場にいたときにお世話になったものでございますが、そちらの方のボランティアに長寿大生のOBの方が入っていない、というものはじめて認識した次第でございます。これから月に2回の運営でございます。毎日やるわけではなく、月にだいたい2回、年間24回ですので、できれば卒業を待たなくてもその途中で、地域に貢献したいという思いが出れば、門戸を訪ねて、ふれあいサロンで手伝わさせていただき、というきっかけになればいいのかなと思いました。それと4年生の問題ですが、これにつきましては40年近く我孫子のオリジナルというか、我孫子の4年生大学を伝統として、他ではやってないところを4年生で学んでもらうということも強くやってきております。この伝統の良さと卒業生も何百人になっており、ネットワークもとても良いと私も聞いておりました、同窓会の集まりがあるということも聞いております。これも大事にしながら、地域活動に出ていくチャンスは少ないということも今日伺いましたので、担当指導員には卒業をまたなくても途中からでもボランティアに出ても良いのでは、ということを経験者に指導してもらおうよう、この機会に言っていきたいと思っております。宜しくお願いします。

●栗原委員：長寿大学は何歳から何歳までですか？

○公民館長：65歳の方から何歳までというのはないので、今年は84歳の方が入ってまいりました。どの方が84歳か私もわからないくらいしっかりされている方で入学式に行ってもまったくわかりませんでした。

●入野委員：今なぜ4年が長いんじゃないか、という話をしたのは社会で活躍されていた方はやっぱりそれだけ社会のノウハウを分かってらっしゃって、ただ地域に移るときにその背中を押してもらって何かがないとなかなか移れない、それに4年もかけていたら65歳から入ったら70歳近くになります。そういうことを考えたら、やっぱりもうちょっと短い時間でしていただいて、即地域に入ってもまだ元気で体を動かせる

というふうにしたほうが効率的ではないでしょうかということです。もちろん今までの伝統の4年間が無駄ではなかったのかもしれませんが、地域活動に移すというのがもし目的であるのであれば、もう少し短く、もう少し早くからやっていただくということがやっぱり大事なことかなという気がただけです。

- 生涯学習部長：おっしゃるとおりのこともあると思います。反面、生涯学習には多様化もあります。ですからどういう形でなければいけないという事はなく、その時の地域の実情とか、市民のニーズとかそういうものによって色々な活動があると思います。ですから例えば地域への貢献でいえば市民活動支援課が、また別の事業をやっています。色々なものがあって、その方が自分で一番入りやすい、取り込みやすいものに入っているということでは、ある程度メニューはたくさんあった方が良いのかと思います。ただしさっきおっしゃたように、4年間の学校ということをきっちり意識して、4年間で何をやっていくのか、常に意識していく必要はあると思っております。
- 入野委員：皆さんの税金を使ってやっているわけですよ。確かにいろんな種類や学ぶ機会はたくさん多様化しているのですごくありがたいと思います。色々な社協が地域で色々なイベントをやってくださって、認知症サポーターや介護のなんとかとか色々やってくださっていますよね。そういうのならまだ意味がわかるのですけれども、皆様の税金で4年間長寿大学に通って、それでそのあとつながりはたくさん作ると思いますが、いわゆる仲間内でのつながりは大事にするけれども、外へ出て行くつながりはなかなかできないということは、4年という長い期間があるからかなと逆に私は思ってしまいました。そこら辺のところをもう少ししっかり意識をしていただいてやるのであれば、多様な学びの場所を作るということは決して反対ではなく良い機会だなと思っております。
- 栗原委員：関連してですが、税金の話がでたのでこれだけの事業でどれくらいの予算で参加人数ひとり当たりどのくらいの予算がついているのかそういう資料はありますか。長寿大学だけでなく、生涯学習関連の事業がどのくらいの予算で事業が行われていて、例えば長寿大学では年間何人でそのうちのひとりに対する税金の使われ方がいくらくらいなのかとか、そういった資料はありますか？
- 生涯学習課長：現在すべての事業についてそういったものを整理しているものはないのですが、当然事務事業評価はやっておりましてそこで執行状況というのは把握しておりますので、ある程度、どれだけ予算がかかっているのかは整理できると思います。
- 渡邊会長：もう少しこの審議会が続きますのでいずれ概略でも少しでも教えていただければ、コストパフォーマンス考えを合わせることもできますので。
- 生涯学習部長：全部の事業をだすということは難しいと思います。何が生涯学習なのかという明確な定義が難しく、例えば介護保険の教室で学ぶことは生涯学習でもありますがけれども、事業自体の費用は介護事業の中に位置づけられていて、もっと言いますと生涯学習は市が行う事業のほとんどは生涯学習のどこかには位置づけられること

になりますから厳密には難しいと思います。ですからどこかを限定して、先程おっしゃたように長寿大学にいくらぐらいかかっているのかであれば、年間の事業費を人数で割ると一人あたりいくらぐらいの経費かが出せると思いますが、市全体で生涯学習に対してどのくらいというのはちょっと難しいと思います。今後、部内で検討していきたいと思います。

- 渡邊会長：他にどなたかいらっしゃいますか。推進計画を作った人間として学び、活かし、つながるまちづくり我・孫・子、なかに・を入れてもらったのは体育協会が推進している一生涯を通じてという意味合いで、われ・まご・こ我孫子ということで区切っていただいたものですから、その辺を少し考えて発言していただけると嬉しいかなと思います。宜しくお願いします。

(3)「平成27年度生涯学習事業の実施状況(資料4)」について各担当課から説明。

- 生涯学習課長：これにつきましては先程椎谷委員からご質問のあったとおり、平成27年度生涯学習事業実施状況というのは生涯学習部で実施している事業について掲載しているものです。生涯学習課の企画調整担当の方で昨年度行った事業について説明させていただきます。まず1ページの1番社会教育委員会議については3回会議を開催し、社会教育事業ですとか生涯学習推進計画、審議会条例についてご意見をいただきました。(2)社会教育委員の研修会として、昨年度は東葛地区社会教育委員・関係者合同研修会を手賀沼親水広場、水の館で行いまして、鳥博の学芸委員の塩田さんの講話を中心とした研修を行いました。参加者は47人でした。2番目の成人式ですが今年の1月10日にけやきプラザふれあいホールで行いました。次の2ページをご覧ください。成人式の出席者数は対象者1256人のうち940人ということで出席率は74.84%で昨年1月の出席率に比べると若干減少しております。記念品は新成人代表者がデザインしてくれた図書カード500円券を配付しました。新成人代表者による企画運営会議を9回開催して、開催にこぎつけました。3ページ、地域交流教室現在は市内の5つの小学校で6つの教室を、市内市民団体、サークルといったところに学習や地域活動の場として貸し出しをしております。昨年度は年間合計で2,954件の利用がありまして稼働率としては54%の稼働率でした。昨年度の稼働率も54%で、稼働率は横ばいです。布佐小が少ないのは部活ですとかランチルームですとか学校使用のほうが多いということで、このような状況になっております。稼働率が54%とちょっと低いのかなと思われるかもしれませんが、学校の方で使ったものはここには入っておりませんので、学校行事で結構使うこともありますので、かなり稼働率としては高いものだと思っています。使用種目、使用団体につきましては下の表をご覧ください。4ページ、後援事業は教育委員会生涯学習部としての後援事業でございます。これについては教育委員会の名義をお貸ししたり、広報掲載するなどしてPRを行ったものでございます。5ページの1

番下に5番目視聴覚ライブラリーがありますが、16ミリ映写機操作の講習会は昨年2回開催しました。これは学童保育の関係者の要望をきっかけに広報でもPRして行ったものです。続きまして6ページ目、視聴覚機器、教材の貸出しということで、まず保有状況ですが機材としてはご覧のとおりのもので、昨年とはトランシーバーを3台新規購入しました。教材としましては16ミリフィルム、ビデオソフトこれはVHSのものですけれども、あとはDVDということで、昨年度はDVDを8本購入し、寄付を受けたものが3本ということです。続きまして7ページ視聴覚ライブラリーの利用件数ですが、昨年は年間トータルで225件ということで26年に比べて若干減少しております。16ミリフィルムの貸出しの件数は、26年度の実績にくらべると105件ということで半減している状況です。貸出し先は主に保育園、幼稚園、学童保育室ということですが、学童保育室が最も多くなっています。続きまして8ページ、ビデオソフト教材貸出数ですが、VHSということで再生できる機械そのものがなくなっている状況ですのでVHSのテープ自体はあるのですが、観るための機械がなかなかないということで昨年度貸出しは0でございました。DVDについてはやはり26年度が88本に対して23本ということでかなり減少してしまいました。あとは視聴覚ライブラリーの16ミリの教材を活用して夏休みにアニメの映写会、絵本の朗読会を開催して100人程度の参加がございました。9ページ目、生涯学習推進本部とあびこ楽校協議会ですが、生涯学習推進本部というのは市の生涯学習施策を総合的に進めるための組織で、市長を本部長として副市長、教育長、水道局長その他部長職で構成されている組織でございます。これについては本部会議を3回開催しました。あびこ楽校協議会は昨年度で生涯学習審議会の方に吸収、統合という形で昨年度で終わってしまったのですが、全体会を3回開催しまして、その中であびこ楽校ニュース編集部会を3回、生涯学習推進事業部会については昨年度は小出監督を核とした「人はなぜ走るか？」というイベントをやったものですが、事業を行うにあたって部会を5回開催しました。次のページ10ページ、生涯学習推進計画策定部会は7回開催して生涯学習の推進計画について議論しました。(3)生涯学習推進事業、これは先程説明しましたが、あびこ楽校協議会のほうの事業部会の方でもご意見をいただいて実施したものです。参加人数は599人とほぼ600人位の方で盛り上がったということ聞いております。企画調整担当としては以上です。

- 公民館長：11ページからになります。7つの事業区分で報告をいたします。まず1学級事業です。公民館が主催事業として行っている長寿大学、家庭教育学級等5つの学級と12ページにありますアビコでなんでも学び隊これの1講座を昨年行いました。アビコでなんでも学び隊は小中学生を対象に土日、夏休みに実施をしました。応募者も多く引き続き開催したいと思います。その他の学級は実施回数は違いますが年度当初に募集を行い実施してまいりました。次に2番目としまして公民館の利用状況です。我孫子地区、湖北地区ともに前年度に比べ利用回数は増加しています。湖北地区は小

中学校の科学作品展を初めて開催しそのため増えています。次に3番目アビスタの駐車場の利用状況です。前年度より約4千台利用が増えています。次に4アビスター時保育事業の利用状況です。アビスタで開催の講座の参加者や図書館利用で2歳以上就学前のお子さんをお連れのご利用者の方が利用された状況です。昨年よりは減少しましたが、こちらは大事な事業として今後も実施しようと思っています。5番目としましてアビスタ展示スペース利用状況です。文化学習情報の発信、作品の展示など館内6か所の展示スペースを無料で2週間以内利用できるものです。このような状況です。次に6生涯学習推進出前講座です。(1)出前講座のメニューは合計で251講座、前年よりは20講座増えている状況です。(2)実施状況ですが179件3674人で前年度よりともに増えています。18ページ、19ページ、ウの市役所メニューとオのキャンパスメニューは合計、利用人数共に増加をしました。最後に7生涯学習情報の収集、提供では地域の指導者に関する情報を登録した人材情報と文化、スポーツの生涯学習活動を行っている団体グループ情報について前年より合計で4件減り240件になっています。公民館は以上です。

- 文化・スポーツ課長：文化・スポーツ課は20ページからになります。まず文化振興担当です。文化振興担当の文化芸術の自主事業は記載のとおり、子どものための舞台鑑賞事業の他3つの事業を実施しました。2番目に記載があります文化財展・寄贈絵画展は文化振興担当と歴史文化財担当が連携した事業で、根戸船戸遺跡1号墳出土の頭椎大刀、修復を終えた中里薬師三尊像、市に寄贈されている絵画を同フロアーに展示しました。この連携事業には多くの来場者がありました。次に第14回目を迎えためるへん文庫は145の応募がありました。21ページからの文化芸術振興事業は24ページまで記載の通り共同主催事業を39件、後援事業を74件実施しました。次に24ページからの文化祭、25ページ郷土芸能祭、26ページの市民文化講座は記載の通り開催し多くの来場者、参加者がありました。29ページ歴史文化財担当では文化遺産の保存として新たに「ヒカリモ発生地」を市の指定文化財に指定しました。これは岡発戸の谷津ミュージアムにあります。現在市の指定文化財は16となります。次の30ページからの文化遺産の活用につきましては、31ページに記載があります「あびこ電腦考古博物館」をリニューアルし、市のホームページに移管しました。大変見やすくなっております。また旧村川別荘、白樺文学館、32ページの杉村楚人冠記念館では、企画展や講演会を実施し普及活動につとめました。次に33ページの旧井上家住宅の保存と活用については、表門、裏門、外塀の整備工事が終了しました。引き続き一部公開をしており、前年度は3,054人の来場者がありました。次に35ページからのスポーツ振興についてです。記載がありますように生涯スポーツ普及事業、スポーツ推進委員活動事業を実施しました。37ページからは市民体育館、五本松運動広場、ふれあいキャンプ場の利用状況及び学校体育施設の開放状況になります。体育館、五本松運動広場につきましては前年度に比べ利用者が増えています。最

- 後に40ページ学校のプール開放については記載の通り行いました。説明は以上です。
- 鳥の博物館館長：41ページから45ページになります。1、27年度事業の特徴としては、開館25周年を迎えたということで記念講演を行いました。活動は市民のボランティアの方々にご協力をいただきながら観察会や館内の案内を行いました。また、鳥の博物館の友の会との共催で友の会展を実施しました。2、教育普及活動の今年度の特徴としては常設展示の新しい情報をアップデートしていくということで、2階の手賀沼コーナーにデジタルサイネージを設置して見学者がタッチパネルで新しい情報を選べるようなしくみを導入しました。企画展は季節性や話題性にとんだテーマで展開しております。今年度は身近なテーマとした第71回企画展「鳥の鳴き声展」や第72回企画展「アホウドリ展」を隣接する山階鳥類研究所の協力を得て共催で行いました。そのほか、第73回企画展「飛んでる鳥展」のように博物館にある所蔵標本をいかした企画展を行いました。第75回企画展「フクロウさんちの子育て日記」では鳥の博物館で調査しているフクロウについて紹介しました。42ページにいきまして、観察会、講座を行っていきまして、てがたん（手賀沼定例探鳥会）は毎月身近な自然を観察する会で、書かれているようなテーマでおこなっております。それからあびこ自然観察隊、我孫子市内の特徴ある自然環境を調査観察して一番いい季節に観察会を行なっております。講座やセミナーも行っております。テーマトークは、隣接する山階鳥類研究所の研究員の方に毎月話題を提供してもらっております。その他さまざまな講座は43ページに書いてあるとおりでございます。43ページ下の方、鳥の科学作品展とありますが小中学校との連携ということで、科学作品展に出展された作品をお借りいたしまして夏休み期間中博物館に展示しております。44ページ調査研究活動といたしまして、地域の自然環境を知るということをテーマにここに書かれているようなことを行いました。それから同じく4番目、収集保存とありますが、鳥の標本の資料、あるいは地域の自然に関する資料、書籍資料を少しずつではありますが着実に収集保存しております。それから45ページ6番施設利用者数ですが、今年度は入館者数36,049人でした。昨年度より2千人くらい増です。鳥の博物館は以上です。
- 図書館長：46ページからになります。読書普及事業、8つほどの事業を行っているのですが、この中でも2番目にあります杉村楚人冠記念館との合同イベントということで、この時で2回目になります。こちらの方はかなり盛況ですので今後も続けていきたいと考えております。市民スタッフの方が朗読されて、その後杉村楚人冠のスタッフの方が色々説明をしていただくということで、参加人数26人でしたが今後とも増えていくように頑張っていきたいと思っております。5番目にあります子ども読書の日ですが、今非常に読書離れが叫ばれていますが、小さいお子さんのときから読書をできるだけやっていたきたいということで、内容につきましてはスタンプラリーのようなかたちで10個スタンプがたまりましたら用紙をパウチしてお子さんにあげるものです。26年は362人の参加でしたが27年は405人と多少増えてきています。

各学校さんの方に出向いてこちらの方も参加を促しているところでございます。その他の事業といたしましては、団体貸出、市内大学図書館との相互利用、ブックリサイクルがございまして、48ページにあります我孫子市民図書館の移動図書館そよかぜ号というものを運用しております、こちらは図書館にくるのが大変だということで市民の皆様の近所まで出向きまして、市内14か所を定期的に運営しております。52ページ6番にあります貸出利用者数というところが昨年と比べて0.6%程減少しているところですが、この前の年との比較では1.7%の減ということでしたので多少貸出利用者数は改善されてきているのかなというふうに考えられるところです。また増えている部分としては51ページにあります4番の利用者カードの登録者数、今年度は3.5%増加しております。この前の時の統計につきましては3.4%でしたのでこちらの方も多少登録者数は増えているということになります。年齢別に登録者数の表になっているのですが、少ないところと言いますと0歳から12歳までのところの方については多少減少しているところで、もう1箇所は30歳から39歳、あとその他の年齢層は増加しておりますので、登録カードを作ったけれども、貸出の方までなかなかこれないということが今後貸出本数、冊数を増やすための課題なのかなというふうに考えております。以上です。

- 渡邊会長：以上で実施状況の説明がおわりましたけれども、質問等ある方は挙手をお願いします。
- 栗原委員：ご報告いただいた事業の中で市民団体と一緒にやっている事業、市民団体に委託してやっている事業がありましたら教えてください。具体的な主催団体の名前はいいです。
- 図書館長補佐：図書館の事業についてご説明いたしますと、53ページ中段録音図書の郵送貸出利用状況があるかと思いますが、視覚障害の方には郵送で貸出をしております。その貸出の録音図書、CDに焼いたものを我孫子市の朗読の会と共同で図書館に作成する事業を行っております。
- 栗原委員：公民館事業の中でもいくつかあるのではと思うのですが。
- 公民館長：こちらの実施状況の方の資料の3、48番25ページ、市民カレッジ我孫子を知るコースが委託というかたちになっております。先程もお話したように前半のところでは我孫子の歴史、そして後半で市民活動の現状、そして市民活動につながるような工夫をしているところです。
- 栗原委員：市民活動ネットワークですか。ふれあい塾ですか。
- 公民館長：ふれあい塾さんです。
- 栗原委員：他にもあったのではないですか。アビコでなんでも学び隊は。
- 公民館長：12ページ、アビコでなんでも学び隊につきましては、講座というかたちで委託ではなく一人、一人講師をお願いしている、このメニューがございまして講師には私ども公民館の主催事業でございまして、前々からまたは好評だったら、そ

の方をお願いしておりますので、委託ではないです。

●栗原委員：熟年備学は。

○公民館長：塾年備学も自主で同じように講師をさがしてやっておりますので、あくまでも失礼ですが先程いいました市民カレッジこちらだけになります。

●栗原委員：できれば市民団体と協働と書いていただけると。

○公民館長：はい、次回から。

●渡邊会長：他にありますか。

○生涯学習課長：生涯学習課では成人式をやっているのですが、新成人12名成人者の意見を聞きながらそこで企画していただいて協働でやっている事業でございます。生涯学習部の事業というのは基本的に市民の方の意見を聞きながら協働でやっている事業が他にも多々あると思います。

●渡邊会長：文化・スポーツの方も文化祭の方は市の主催でしょうが、開催はお願いするということもありますよね。そういうのはありませんか。

○文化・スポーツ課長：文化祭につきましては我孫子文化連盟に事業を委託してやっております。

○生涯学習部長：たくさんありますので次回までにもう少しまとめたものを提出させていただければなと思います。

●渡邊会長：お願いいたします。

(4)「平成28年度生涯学習事業の予定について」(資料5)について各担当課より説明。

○生涯学習課長(1)の生涯学習審議会、これは生涯学習の施策や事業について検討審を行うということで今年度は年3回、11月とその後はまだ未定ですがその辺で開催したいと思っております。まだご説明してないですが審議会においては部会を設けることができるとなっておりますので、今後委員の皆さまの意見を聞いて必要に応じて部会を設けるなどして検討していきたいと思っております。(2)成人式の開催ということで来年は1月8日に行います。(3)視聴覚ライブラリーの運営はこれまでとおり視聴覚機材、教材の貸出を行います。夏休みには機材、教材を活用して夏休み朗読会映画会を開催します。(4)地域交流教室の運営管理ということで、先程もご説明しましたとおり市内5校の教室6つを活用して提供してまいります。今日から地域交流教室については基本的にエアコンが設置されたということで、これまで無料でしたが、今日から1コマ100円の料金をいただくことになりました。(5)生涯学習推進本部会議及び幹事会の開催ということで市長を本部長とする会議で生涯学習推進計画の進行管理の報告を7月末に行うことになっております。(6)生涯学習推進事業としまして今年度は後でご意見を頂戴したいと思っておりますが、主に定年退職者を対象とした講座、卒サラ講座というものを開催して、定年退職者の生きがいつくりや地域での活動に参加してもらえようような講座を開催したいと思っております。あとは生涯学習推情報紙、「あびこ楽校

ニュース」を年4回発行する予定であります。以上です。

- 公民館長：ア、学級運営事業は27年度同様に5学級1講座の自主事業を行っていきます。特に先程お話ししましたが市民カレッジ我孫子を知ると熟年備学では地域活動につながるようなテーマをふやしています。イ、生涯学習出前講座、ウ、保育スタッフ事業も27年度同様に実施していきます。生涯学習施設の整備・充実では(1)の湖北地区公民館指定管理者制度の運営では28年度から30年度まで2回目の指定管理となっております。昨年のホールロビー系統の空調更新工事に引き続き今年は学習室系統の空調工事の更新工事を行い6月15日～9月30日までお部屋の利用を中止させていただいております。以上です。
- 文化・スポーツ課長：文化振興担当では引き続き文化芸術自主事業、めるへん文庫事業、文化祭及び文化芸術団体の育成・支援、郷土芸能祭を開催していきます。歴史文化財担当では、記載のとおり事業を実施します。4ページにあります旧井上家住宅の保存と活用につきましては本年度から30年度にかけて二番土蔵の保存整備工事を実施します。また母屋の耐震診断を行います。あわせて一部公開を行い、旧井上住宅の文化財的価値を引き続きPRしていきます。続きましてスポーツ振興担当では、市民体育館の改修事業ではトレーニングルームの増設工事は今月の10日に終了する予定です。野球場の本部席の設置工事も行おう予定ですが現在設計業務をしており、12月に工事に入る予定です。また、健康スポーツ普及事業では既に終わっておりますが、4月に日本トップリーグ連携機構と共にボールゲームフェスタを市民体育館で開催しました。説明は以上です。
- 鳥の博物館長：5、6ページになります。ここに書きました1から14までの事業を実施します。今年の大きな事業は博物館の施設の整備に関するものでして、8番博物館施設整備の維持管理事業です。開館26年を迎え老朽化した空調設備の更新工事を行います。工事期間中は一般の来館者の館内入館はできないので、工事期間の11月7日から1月末までの3か月間博物館を閉館する予定です。この期間の観察会、野外のイベントは予定通り実施いたします。6番企画展の実施は2つの企画展を実施する予定です。11、14番、図書、標本収集・保存に関しましても着実に実施していきたいと思います。13番常設展示のリニューアルに関しましては平成34年の開館30周年を目指して調査等準備を実施していきたいと思います。以上です。
- 図書館長：7ページからになります。14の事業になります。ほぼ27年度に引きき事業を展開していくかたちになります。中でも9ページの14番郷土行政資料サービス事業、今年度も白樺文学館、杉村楚人記念館との講演会を企画中でございます。①にあります楚人冠講座を9月4日と日程だけは決まっていまして細かい内容をつめているところであります。あと郷土講演会ということで12月4日、各企画展に関しては年間を通して実施していくところでございます。以上です。
- 渡邊会長：これについて、ご意見後質問はありますか。

- 藤間委員：今更恥ずかしいのですが視聴覚ライブラリーはどこでどのように、内容はどのようなものがあるのか調べる手立ては。
- 生涯学習課主査長：視聴覚ライブラリーですがホームページのほうにあげております。広報でお知らせするときもあります。場所は教育委員会に機材、16ミリのフィルム等すべておいてあります。市民の方が生涯学習をされる時に学習を支援する目的で置いています。やはり認知度が低いので8月にお子さんを対象に映画会を開催した時に目録を皆さんにお配りして利用率のアップをはかっていきたいと考えております。
- 椎谷委員：要望的な話ですが、3ページの文化財説明版・誘導板整備に関連して、動く掲示板ではないですが、市内にいくつかガイドをする団体があるのですが、我孫子の駅前のアビシルベのところには何かそういう人たちと連携して毎日だけかいて、我孫子市に来て何か知りたいという時に案内できるようなしくみはできないかなと個人的に思っているのですが、地域振興的な話にもなるので、歴史文化財の文化スポーツ課だけではないのかもしれませんが、色々ないくつかの団体があつてガイドしたいという意欲もあるし常に生涯学習で学んだ成果を返すべきではということでもあるし、もちろん市民はもちろん、市外から来た人に対応できるようなシステムにさせていただけるとより活性化になるのかなということでも要望です。
- 文化スポーツ課長補佐：アビシルベは現在商業観光課が所管していて外部に委託はしているのですが、観光情報をとる一番の場所だと深く認識しておりますので、私どもでも行うイベントのチラシやそういったものは必ずアビシルベに置くようにしております。こういった会議の場でもっと市民の参加をしたいといった要望があつたということは商業観光課に伝えていきたいと思ひます。
- 入野委員：ウオーキングをする時に自分が行こうとしたところをインターネットで調べて、こういう観光地とか見た方がよい所があるということ調べていたりすることがあるのですが、それと同様で我孫子にもそういうのがあると白樺文学館や色々な大事な場所がいっぱいありますよね、そういうところがもっと世の中に出てそこで勉強した人が社会貢献できるそういう場所になるので、できればそういう観光案内を、若い人は全部インターネットで調べていきますのでぜひそれを立ち上げていただきたいと思ひます。我孫子は観光でも頑張らないと思ひるので、ぜひ皆さんで協力してお願ひしたいと思ひます。
- 文化・スポーツ課長：現在我孫子市のホームページで市内の見どころのルートは掲載しております。また、あびこの魅力発信室でも我孫子市の魅力を紹介しております。
- 入野委員：もっと充実させていただきたい。我孫子の駅に来てから、あの案内所に行くという人は殆どいないです。駅降りて真正面なら話は別ですが、ちょっと入りますでしょ。だからできればインターネットの中になにかあつたらそこに寄つて聞いてから行きましようというご案内が、まず調べてから来る人はそうだと思うのでぜひ充実させて、利用しやすいガイドを作つていただければなと思ひます。

- 生涯学習課長：確かに市役所の場合はなかなか横の連携ができなくて、各課で行っていることがあるので、その辺は我孫子の魅力発信室や商業観光課の方に伝えて、できるだけ委員のご提案が実現できるようにしていきたいと思います。
- 入野委員：よろしくお願いします。
- 渡邊会長：先程地域交流教室エアコンが入ったということですが、西小、東小入っていないです。
- 生涯学習課長：西小と東小につきましては工事が遅れていて7月18日には完了する予定です。大変ご迷惑をおかけして申し訳ございません。
- 渡邊会長：ボールゲームフェスタ、トップリーグのNECグリーンロケッツの方達がタグラグビーを教えたり他のボールゲームを教えていただいたのは大変有意義で面白かったと思うのですが、その先、参加した人たちを大型のスポーツクラブに紹介したりとかルールはうまくできているのかなと思って、ちょっとイベントだけではなんか心配と思ったので伺いたいのですが。
- 文化・スポーツ課主幹：今現在そういうルールはできていません。ボールゲームフェスタを呼んでつなげたいという思いはあるので実施しました。今年度はどうなるかわからなかったのも、実は今年度から、本当は我々のねらいとしては普段スポーツをやっていない子どもたちに参加をしてほしくて投げかけたのですが、でもなかなか情報の伝達PRが、学校も取り込めてずいぶんビラも配り色々やったのですが、参加者は少なく今年度に関してはスポーツ少年団に協力を仰いで多く動員をかけた、PRの仕方どういう風にすれば子どもたちに響くのか、また保護者に響くのかというのがなかなか。実は学校教育のほうも鈴木先生とも一緒にやっているのですが、どうしたら響くのかというのがなかなか正直なところわからないのですが、学校のほうとも協力して、どうしたら普段スポーツをやっていない子どもたちを参加させてその子達をそのあたりにつなげていきたいという思いはあります。スポーツ少年団に入っている子どもたちは、スポーツをやっているのも、ただやっていない子たちに体を動かすこと面白いんだよということをいかに伝えていくか、今どうしたらいいのかこれから先皆さんにご意見を伺って検討していきたいと思います。
- 入野委員：スポーツ推進委員の方がいらっしゃいますが、ああいう方達が学校に行ってスポーツテストをしたりするときの補助とかその人たちが中心となってスポーツの補助をしてあげたりということで、学校と顔みしりになるということが一番大事かなと思います。その後例えばあびっ子クラブみたいに放課後子どもたちが集まる時に、では今日はスポーツ推進委員のこの方に協力してもらおうとかそういう機会をどんどん増やしていくことでちっちゃな子もスポーツに興味をもつ、そういう努力をしないといけないと思います。だからもっと地域に出でいけるような、子ども達の前にでていけるような機会を作っていけば、そういうスポーツ生涯スポーツをやりたいなと子ども達ももしかしたらいろんなチャンスにするのかなという気がしています。

○文化・スポーツ課主幹：ありがとうございます。参考にスポーツ推進委員と話をします。

●福田委員：今子育て真最中で、学校でそういったチラシをたくさんもらうのですが、親も子どもも忙しいので連れて行くということが、子供が興味があるかどうかわからないものに連れて行くということがやはり負担というか、でも体験してみれば子どももすごく楽しいということも多いと思います。放課後にあびっ子クラブがありますけれども、講座みたいなものを色々してくださるということで始めて申し込んでいるのですが、なかなか囲碁やカレンダーづくりはあるのですが、増えてこないで遊びに行っている子ども達もまたあれしかないからと、だんだん飽きてしまうという話も聞くので、子どもが足を運ばなくても体験してみることで興味がでてくることもあるので、そういった講座とかで学校とかにきていただいてちょっと見せていただいたり、体験させていただくだけでも行きたいというかなと思いますので、親も子どもその先足を運ぶきっかけになると思いますのでお願いしたいと思います。

●渡邊会長：私もあびっこのボランティア登録をしていますので、何かありましたら協力します。

●栗原委員：今の質問に関連して私の施設に聴覚障害の方がいるのですが、その方が卓球がしたいと、その願いをどうしたら叶えてあげられるかと、いろんな卓球の団体とか聞いて回ったのですが結局どこにもできるところがなくて、結局夢が実現しなくてそういう時にどこに相談しにいけばよいのか？

●渡邊会長：体育協会で先日スペシャルオリンピックをしていらっしゃる方からそういう依頼があったらどうするかということで、理事会で話したことがありました。結局指導する技術は自分達はあるけれども、そういう障害のある方達に指導する資格がない、だから我々に依頼がくるのであれば先生達に必ずいていただかないと無理があるなど。体育協会では全部自分達で資格がいることは難しいかな、技術は教えることはできて何かあった時の資格は持ってない方のほうが多いので、スポーツを健常者に教える資格はもっていても障害のある方に教えると事故がおこると困ると言われましたので、その辺のところを少し考えていただけると、体育協会の方でも指導者は出せると思います。体育協会に相談してください。

●栗原委員：ガイドヘルパーを付けることは可能だそうです。スポーツをしたいと思っている人はたくさんいると思うのですが、なかなかできる機会が無いので・・・。

●渡邊会長：我孫子市は野球と卓球は、競技人口はかなりいらっしゃいますし、指導者も優秀な方がたくさんいらっしゃいますので、もしそういうことがあれば可能だと思います。是非体育協会のほうに相談していただけたらと思います。

(5)「生涯学習推進事業について」(資料6)生涯学習課より説明。

○生涯学習課：資料6のチラシをご覧ください。市民の方へ生涯学習の場の提供や、学

習のきっかけづくりのため、生涯学習推進事業を実施してきました。平成28年度は、我孫子健康生きがいつくりアドバイザー協議会委員の方の協力を得て、「人生は定年後が面白い!!」と題して卒サラ講座を実施します。この講座は、定年退職を迎える、もしくは迎えた方を対象に、定年後の学習や地域活動のきっかけづくりになるような講座です。日程は、9月24日、10月1日、8日、22日の全4回それぞれ土曜日開催となります。時間についてですが、資料は、12:00~15:00と表記されていますが、実際講座を実施する時間は、12:30~14:30となります。申し訳ありませんが訂正をお願いいたします。募集については、本日、午後から14日までアビスタストリートで行うPR展示でのチラシの配布や、「広報あびこ」9月1日号で周知を行います。裏面に簡単に講座の内容や流れを載せていますので、お気づきの点がありましたら、ご意見を頂ければと思います。

- 渡邊会長：これについて、ご意見ご質問はありますか。無ければ我孫子楽校ニュースについて説明をお願いします。

(6)「あびこ楽校ニュースについて」(資料7)生涯学習課より説明。

○生涯学習課：資料7をご覧ください。生涯学習課では、生涯学習に関するさまざまな情報を発信する情報紙として「あびこ楽校ニュース」を発行しています。発行は、年4回3か月毎に7,000部発行しています。なお、年度の最初の月や、最終月をずらして、発行月が重ならないようにしています。様式については、配付しました以前のニュースを見ていただくとわかりますが、学習帳風のデザインとなっています。1面では目の引く記事、2-3面では、イベント等の特集記事、4面では生涯学習部の事業に関する記事を載せています。7月16日に30号を発行いたします。30号については、すでに内容が固まっておりますので、市内公共施設で配布しますので、見かけたら手に取っていただけると幸いです。今後、10月16日発行の31号を作成していきますので、31号についてご意見を頂ければと思います。入稿は9月下旬となりますので、ご意見がありましたら8月末までに連絡をお願いいたします。

- 渡邊会長：質問がある方はいらっしゃいますか。あびこ楽校ニュースは民間は入らずに事務局で作成しているのですか。

○生涯学習課：以前はあびこ楽校協議会で内容を決めて、生涯学習課で編集していましたが、あびこ楽校がなくなりましたので、こちらで案があれば出していただいで発行していこうと考えております。

- 渡邊会長：意見を言うとしたら、いつまでの締め切りですか。

○生涯学習課：ご意見がありましたら、8月末までをお願いいたします。

(7)「我孫子市交通安全推進協議会委員の推薦について」(資料8)について事務局より依頼。

○生涯学習課：資料8 我孫子市交通安全推進協議会委員の推薦についてをご覧ください。
我孫子市交通安全推進協議会委員の推薦について、市民安全課から推薦依頼がありました。この我孫子市交通安全推進協議会は、交通事故のない、安全な交通環境を実現するため、我孫子市生活安全条例第13条に設置することが定められています。交通安全に関すること、交通安全教育の推進に関することなど、交通安全に関し調査審議するため、必要に応じて開催されます。つきましては、「我孫子市交通安全推進協議会に関する規則」第3条第2項(2)の規定により、生涯学習審議会委員の2名の方にお引き受けいただきたいと考えております。任期は平成28年4月1日から平成30年3月31日までの2年間となります。今年度は夏から秋にかけてと秋から冬にかけて各々1回、計2回の会議を見込んでいます。内容は、今年度が我孫子市交通安全計画の5年ごとの見直しの年なので、会議の中で計画の見直し案を審議していただく予定です。この協議会の委員をどなたかにお引き受けいただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

●渡邊会長：どなたか、立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。無ければ事務局のほうから、推薦はありますか。

○生涯学習課：事務局としましては、推薦にあたって男女共同参画の観点から、可能な限り女性を、との依頼がございましたので、入野委員と福田委員にお願いしたいと考えております。

(拍手)

●渡邊会長：では、入野委員と福田委員にお願いいたします。

【報告事項】

(1) 「平成28年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画について」(資料9) 生涯学習課より報告。

○生涯学習課：平成28年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画について報告いたします。お手元の資料9平成28年度東葛飾地区社会教育連絡協議会事業計画書をご覧ください。東葛飾地区社会教育連絡協議会は、東葛飾地区の生涯学習審議会委員および社会教育委員等の連絡・提携を強化し、情報の交換と研修・研究を行うことでその活動の充実をはかり、東葛飾地区の生涯学習の充実を目的とし、我孫子市、松戸市、柏市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市の6市で構成されている協議会です。去る5月10日に、東葛飾地区社会教育連絡協議会第1回役員会議及び評議員会が行われ、平成28年度事業計画算が議決されましたので報告いたします。表の中の7月以降の役員会議は、会長と事務局が出席します。また、8月23日の研修会、1月17日の合同研修会につきましては生涯学習審議会委員の皆さまが対象となっております。8月の研修会は野田市中央公民館で、群馬県立女子大学の佐々木尚毅先生の講演を予定しております。また、1月の研修会は、鎌ヶ谷市で視察と講話を予定しております。どちら

も開催日近くになりましたら、事務局から案内通知を送付させていただきますので、是非ご出席ください。事業計画については以上です。

●渡邊会長：ただ今の報告について、どなたかご質問はありますか。

(2)「第58回全国社会教育社会教育研究大会千葉大会について」生涯学習課より報告。

○生涯学習課：第58回全国社会教育研究大会千葉大会について報告いたします。本日お配りした、第58回全国社会教育研究大会千葉大会という、カラーのチラシをご覧ください。第58回全国社会教育研究大会が千葉県で行われることになりました。この大会は、昨年度は大分県、その前は徳島県と、全国の社会教育関係者が一同に集まりまして、議論と交流を深めるために毎年開催されているものです。昨年度から実行委員会が開催され、実行委員として渡邊会長と、事務局が参加をし、打ち合わせ等を重ねてまいりました。チラシの裏面に日程等の記載がありますのでご覧ください。開催日は平成28年10月26日～28日、会場は千葉市になり、皆様にご出席をお願いするのは、27日と28日の2日間です。27日は12時15分からのアトラクションから、28日は9時30分からの分科会別研修に参加をお願いしたいと考えております。特に10月28日の分科会では、渡邊会長が「第1分科会の学校教育支援の推進」で実践発表をされますので是非ご出席ください。大会の2日間は教育委員会からバスを借り上げて会場へ向かう予定であります。また、参加費5千円につきましては教育委員会で負担をさせていただきます。そして、今回生涯学習審議会の委員のみなさまにお願いがあります。県の実行委員会から、おおよその参加人数を把握したいとの依頼がございました。参加は、両日ご参加ができない場合は、どちらか1日でも結構です。大変申し訳ございませんが、本日お配りした要綱もあわせてご覧いただき、参加不参加のほうを今現在の時点でかまいませんので、7月6日(水)までに、メールか電話等で生涯学習課企画調整担当までご連絡をお願いいたします。また、お配りした要綱の中に、大会参加の申込書がありますが、参加手続きは生涯学習課で取りまとめて行います。生涯学習審議会の委員のみなさまには大変お手数をおかけいたしますが、7月6日までにご連絡くださいますようよろしくお願いいたします。

●渡邊会長：それでは7月6日までに事務局のほうに出欠の連絡をお願いいたします。

我孫子市は広報担当ということで、お手元のチラシも我孫子市で作成しました。

大会当日は広報担当で走り回っている状況になると思いますけれども、私も今回千葉県大会ですので参加しますけれども、他の県の大会に出たことがないのでどんな感じなのかわからないんですけれども、発表時間も非常に短くて15分しかないということでした。今回の千葉大会はテーブルを囲んでディスカッションをしようということで、他の地域の方と知り合いになることができると思うので是非お願いいたします。何か他に意見はありますか。

(3) その他 我孫子市文化芸術基本方針について説明。

○文化・スポーツ課長：我孫子市文化芸術基本方針の改定について説明いたします。本日、お手元に「我孫子市文化芸術基本方針」平成22年2月作成のものと、「我孫子市文化芸術振興条例」、「我孫子市教育振興基本計画」をお配りしております。確認をお願いします。「我孫子市文化芸術振興基本方針」は、平成21年度に策定されました、「我孫子市文化芸術振興条例」の15条に基づき、平成22年に策定されこれまでこの基本方針に沿って様々な事業を着実に実行してきました。この方針の期間は4ページのとおり、平成22年度から5年間となっております。また社会情勢の変動により見直しの必要が生じた場合は適宜検討を行うとなっております。こういうことから平成27年度に改定の時期を迎えたのですが、平成27年度に「我孫子市第三次生涯学習推進計画」が作成されました。また、26年度に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正にともない、平成27年度に我孫子市でも新たな教育委員会制度がスタートし、我孫子市のめざすべき教育方針としての教育大綱が策定されました。この教育大綱に基づいて平成27年度に我孫子市教育振興基本計画が作成されることになったため、それにあわせて基本方針の改定について検討することになりました。その結果「第三次生涯学習推進計画」は、施策の体系や推進体制などの見直しを行ったもので、文化芸術等の各部門計画については内容が大きく変わるものではありませんでした。また、「我孫子市教育振興基本計画」は「文化芸術への支援と地域文化への継承」というものを掲げ、現在の「我孫子市文化芸術振興基本方針」の考え方に沿ったものであったことから、今回の基本方針の改定については、基本的にはこれまでのものを踏襲し、現状の基本方針の全文や基本方針の期間などの時点修正のみを考えています。次回の審議会では時点修正した案をお示ししたいと思います。説明は以上です。

●渡邊会長：部会が立ち上げることができる、という話をされたと思うのですが、社会教育委員会の中で部会を立ち上げて、教育長への提言とか教育委員会へのお願いができますので、もし自分達の活動で何か疑問に思った生涯学習関係のことがあれば、こういうことを話し合っただけませんかという話を生涯学習部の方にあげていただければと思います。必ずその部会が立ち上がるわけではありませんが、期間も1年なり2年なり、何回か会議をもってその提言がまとまればよいのですが、そのような形でもし部会を立ち上げられるのであれば、立ち上げてこの審議会とは別に会議をもって何度か会議をしていただけるようになると思います。自分達でもしこれがやりたいんだ、というのがあればぜひ事務局の方に意見を入れていただければと思います。これで第1回目の生涯学習審議委員会が終了しますが、私が申し上げたように部会が必要だと思われる方はお願いします。次回は11月です。